

NPO 法人南富良野まちづくり観光協会

所在地 北海道空知郡南富良野町字幾寅 1003-44(NPO 法人南富良野まちづくり観光協会)



（アドバイザー派遣申請の背景）

エコツーリズム推進の組織づくりに向けた第一歩に

南富良野町は、25 年前から豊かな自然環境に誘引され、自発的にアウトドア事業者が集約され、カヌー・ラフティング・犬ぞり・パウダースキーなどガイド付アウトドア体験観光では北海道内でも先駆的な地域となった。

しかし現在はガイドの中年化やアウトドアブームの衰退、少子化、近隣市町村の事業者の無秩序な事業拡大などにより将来が不安視されている。5 年前設立された NPO 法人南富良野まちづくり観光協会では、南富良野町内の新たな自然体験観光資源を調査し、極相の森の巨木群、春秋のエゾシカの移動、イトウの産卵活動、砂金掘りなどの新資源を発掘した。しかし南富良野町は国立公園等の範囲外であるため、利用ルールづくりや組織化が見込める町内のアウトドア事業者だけではなく、近隣市町村の事業者の無秩序な観光利用が予想され、貴重な自然資源が損なわれる可能性がある。南富良野町は町独自の「イトウ保護条例」を施行しているが、産卵期のイトウの捕獲自粛は求められても、観察に関しては制限できないのが現状である。

そこで「エコツーリズム推進協議会」を設立し、「地域の自然は地域で守り利用する」をモットーに、町内アウトドア体験事業者を中心に組織づくり、ルールづくりを進め、合わせて南富良野町役場には「エコツーリズム推進法」指定地区となるべく事業を立ち上げてもらいたい。今アドバイザー派遣はその第一歩といたしたい。

エコツアーリズムに取り組む目的	
従来の観光から脱して、新しい地域の魅力づくりを行うため	
「自然とのふれあい」を志向する旅行者のニーズに対応するため	○
地域の活性化に貢献するため	○
地域資源の保全に対して「来訪者」の意識を高めるため	○
地域資源の保全に対して「地元住民」の意識を高めるため	○
地域の将来にわたって「自然環境や文化の保全」が特に重要な点だと考えているため	○
現在悪化しつつある地域の自然環境や文化の保全に役立てるため	
(その他)	

エコツアーリズムの対象となる自然観光資源	
動植物	○
動植物の生息地・生育地	○
地形・地質	
自然環境と密接な関連を有する風俗習慣、その他の伝統的な生活文化に係る観光資源	○
これから地域資源の洗い出しをするため、地域資源の把握ができていない	
(主な自然観光資源)	

現在取り組んでいる・取り組もうとしているエコツアーの種類	取組中	検討中
原生的な自然におけるエコツアー	○	
地域に特有な野生生物とのふれあい		○
自然の営みにふれる観察会への参加		○
環境教育を主目的とした活動	○	
農林業などの体験を通じて自然への理解を深める活動		○
自然や文化に関する解説を受けながら地域を巡る活動		○
地域の生活や文化を体験する活動		○
環境保全のための貢献活動		○
自然の中でゆったりとした時を過ごしながらか自然の恵みを体感する活動		○
(現在取り組んでいること)		
(取組を検討していること)		

アドバイザー派遣の概要

●日時

平成 24 年 2 月 27 日（月）～28 日（火）

●場所

北海道空知郡南富良野町字幾寅ならびに字内藤の町有林（通称：極相の森）

●エコツーリズム推進アドバイザー

財団法人日本交通公社 観光調査部長 寺崎竜雄 氏

●参加者

南富良野町、南富良野町商工会、NPO 法人南富良野まちづくり観光協会、(株)南富良野町振興公社、NPO 法人どんころ野外学校 他 計 25 名参加

●視察およびアドバイスのスケジュール・方法

（1 日目）

- ・ 南富良野町幾寅までの車中で日程打合せ
- ・ 内藤地区の町有林（通称：極相の森）を視察
- ・ 「エコツーリズム推進セミナー」でご講演
- ・ 参加者と懇親会

（2 日目）

- ・ 「地域コーディネーター事業」応募について打合せ

(アドバイザー派遣を実施して参考になったこと、感想)

アドバイザー派遣の効果

●参加者や関係者に与えた効果

一部の参加者を除いて、この1月まで全く知らなかった「エコツーリズム」について寺崎氏の2回の講演会で知ることが出来た。また南富良野町町長、企画課、産業課職員をはじめとする行政、商工会関係者、一般町民に南富良野町の観光だけではなく、自然を生かした町づくりの将来像の一つの選択肢として「エコツーリズム推進」を考え始めるきっかけとなった。

●今後の期待される効果

○参加者や関係者に与えた効果

エコツーリズムとは何か体系付けて学ぶことが出来た。またエコツーリズムを推進することによって発生する自然や地域に対する影響について、良い面、悪い側面について学ぶことが出来た。これをベースにアウトドア事業者、行政、商工業者、一般町民が南富良野町の自然と地域の将来像について同じテーブルを囲んで話し合えるきっかけとなった。

○今後の地域におけるエコツーリズムの推進に対してもたらされることが期待される効果

今春早々の南富良野エコツーリズム推進協議会の設立に向けて、設立準備会を立ち上げることが出来た。準備会として「平成24年度エコツーリズム推進コーディネーター活用事業」への申請が出来た。

(アドバイザー派遣を実施して参考になったこと、感想)

アドバイザー派遣を実施して (地域からの声)

●参考となった事項

先進地の状況を知ることが出来た。世界自然遺産登録地域や国立公園指定地域で起こっている悪しき状況、エコツーリズム推進のための合意形成を阻害する要因等を事前に知ることができた。

当地域は、国立公園指定地域外であり、かつ優良な自然が未だ未利用である。しかし今後アウトドア体験事業者の、エコツーリズムへの転換を推進してゆく場合、他地域の悪しき状況や合意形成を阻害する要因を事前に避けていくことが可能となった。



●その他感想

非常に優れた講師陣容であり、ぜひとも他の講師の他のジャンルの話を聴講したい。

(エコツーリズム推進アドバイザーから地域へのアドバイス)

寺崎アドバイザーからの地域へのアドバイス

●町有林「極相の森 (仮称)」の活用について

「極相の森 (仮称)」は、町中心部から車で 10 分程度の位置から山麓に立地する樹林帯で、この時期にはスノーシュー利用によって、立ち入ることができる場所である。このエリアのエコツアー利用についての助言としては、単に「見る」対象としては、一つ一つの木の大きさや、密集度からすると観光的価値は限定的である。

しかし、専門性をもったガイドが解説をすることにより、その価値が大きく発揮されるだけの資質をもった場所である。

この資源を地域への誘客力の中心に据えることは難しいが、富良野を訪れた観光客に、追加的な自然観光を体験してもらうには、立地面、資源性ともにポテンシャルがある。

一方で、無秩序な利用は資源破壊に直結するので、利用と保全の方向性を十分に検討した上で、ガイドの育成なども含めて事業化していくことが望ましい。

●講演会における助言

平成 24 年 1 月に「ニューツーリズムへの取り組み」について講演会を開催し、その中で「ガイドダンス」に関する情報は情報提供済みであった。そのため、この講演会では主として①ルールに関すること、②エコツーリズム推進法、に関する情報提供を行った。

ルールに関することについては、屋久島を事例として引用した上で、無秩序な急展開により引き

起こる可能性のある、

○資源そのものの劣化

- ・ 不適切な利用による自然資源の破壊
- ・ 不適切な利用による資源価値の低下

○利用環境の劣化

- ・ 過剰利用から資源を守るために、過度な施設整備。これにより資源の原生性が低減
- ・ 過剰利用により、サービス施設の処理能力がオーバーフロー
- ・ 資源とふれあう環境の劣化（資源本来のすばらしさが、伝わらない）
- ・ 利用者の満足度の低下

について現象や問題点を具体的に説明し、対応策として関係者が意見交換を行えるような機会を設置し、地域の将来目標や、そこに向けた行動方針などを議論し、共有することが有効であることを伝えた。

エコツーリズム推進法については、エコツーリズム推進基本方針に基づき

- ・ 法律の概要
- ・ 全体構想に盛り込む内容

などについて伝えた。

●全体的なコメント

当地域については、地域のエコツアー事業者を支援し、地域内協議の場のとりまとめ役として期待される NPO 法人南富良野まちづくり観光協会があり、意欲的に活動している。

今後は、同協会が、事業者間の連携を図るとともに、町行政との意見交換と連携強化を図ることによって、計画的なエコツーリズムへの取組が期待できる。エコツアーについては具体的な事業を積み重ね、そして地域内の協働についてはあせらず、ゆっくりと町内の関係者との議論を重ねて取り組んでいって欲しい。